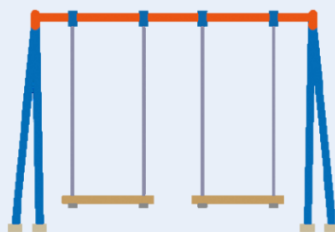
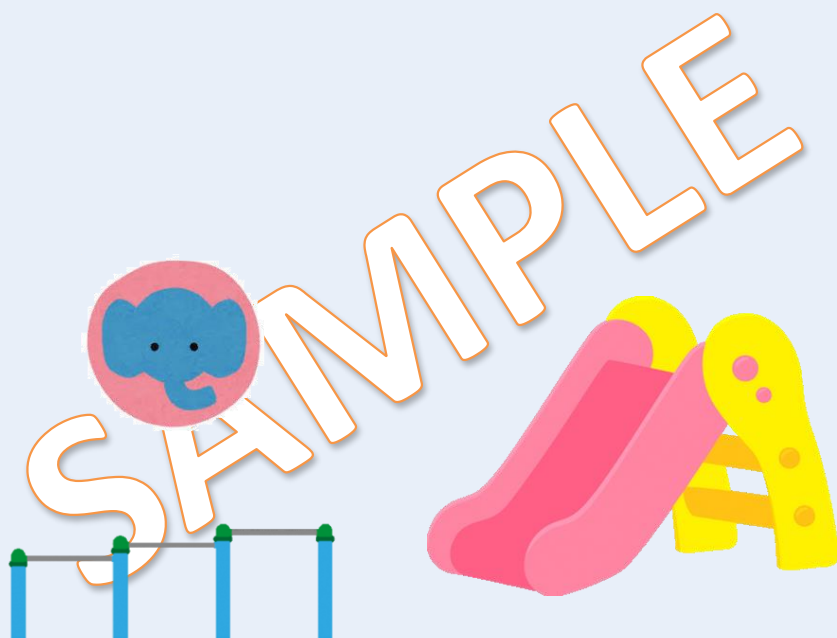


保育事業者様向け

遊具チェックシート

解説編



すべり台（室内用）の解説



Check1



定期的に汚損のチェックや消毒をしているか？
また、その記録をしているか？



放置すると・・・？

- はだしで遊ぶことが多く、また、多くの子どもが触れることから、遊具に触った手を口に入れるなどによって感染症が伝播する原因となる可能性があります。



対処方法

- 汚損や消毒の記録が確認できない場合、**直ちに使用を禁止**し、**消毒**をしてください。
※製品の材質等により消毒の方法が異なるため、事前にすべり台のメーカーに使用する消毒剤や、消毒の仕方について確認しておくといでしょう。



Check2



滑り止め（接地面）に破損やはがれ、汚れはないか？

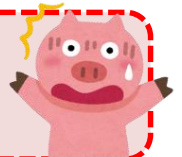


放置すると・・・？

- 汚れにより滑りやすくなると、すべり台が動いて転倒などの大きなけがの原因となる可能性があります。

こんな事故に注意！

滑り止めが効かなくなることによって、すべり台が動いて転倒した。



対処方法

- 滑り止めに破損やはがれがあった場合は、**直ちに使用を禁止**し、**専門業者に修理を依頼**してください。
- 汚れを除去し、滑らないかどうかを確認してください。それでも滑るときは、**直ちに使用を禁止**し、**専門業者に修理を依頼**してください。



Check3



接地面にがたつきがあり、不安定になっていないか？



放置すると・・・？

- 転倒や落下事故の原因となるおそれがあります。



対処方法

- 接地面にがたつきや凹凸がある場合は、その場所での使用を止め、原因が分かれば撤去してください。
- 遊具本体の変形等がある場合は、**直ちに使用を禁止**し、**専門業者に修理を依頼**してください。

すべり台（室内用）の解説

 **Check4** ☐ ささくれや破損により、鋭利な箇所ができていないか？



放置すると・・・？

- 室内用のため、はだしで使用するなど肌の露出が多くなる傾向があり、手足・指を刺したり切ったりしてけがの原因となるおそれがあります。



対処方法

- ささくれや破損が見つかったときは、**直ちに使用を禁止し、専門業者に修理を依頼**してください。
※テープなどで保護をして使用を続けしないでください。製品が劣化している可能性があり、専門的な視点で使用の可否を判断することが必要となります。

SAMPLE

ブランコの解説

Check 1 ☐ ボルトがゆるんでいないか？ボルトが突き出ていないか？



放置すると・・・？

- ボルトの落下により支柱・梁の接合部が外れたり、座板が落下するなどして重大な事故につながる危険があります。

こんな事故に注意！

座板部と吊り金具のチェーンを接続するボルトが外れ、ブランコに乗っていた子どもが地面に落下、後頭部を打った。



対処方法

- ボルトの締め付け作業や、ゆるみにより傷んだボルトの交換、ボルトキャップの取付が必要な場合、**専門業者に修理を依頼**してください。園においてボルトの締め付けが可能な場合は締め付け後、**専門業者に修理を依頼**してください。
- ボルトが抜けている場合は**直ちに使用を禁止**し、**専門業者に修理を依頼**してください。

Check 2 ☐ 摩耗・破損・伸びは問題ないか？



放置すると・・・？

- チェーンや取り付けリング、ロープが外れるなどして、座板部が落下するなどの重大事故につながる危険があります。

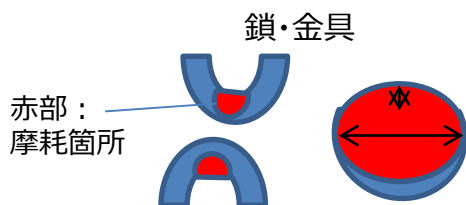


対処方法

- チェーンや取り付けリング、ロープは周辺の部材と比べて1/3程度摩耗が進んでいる箇所があるときは交換が必要です。**専門業者に修理を依頼**してください。**摩耗が1/2程度まで進んだときは、直ちに使用を禁止し、専門業者に修理を依頼**ください。
- ロープのゆるみ等により座板が下がり、地面と座板との距離が330mm(*)未満となっている場合、地面を削るなどして足場を確保したうえで**専門業者に修理を依頼**してください。
(逆に、450mm(*)以上の場合は**地面のかさ上げ補修が必要**となります)

(*)解説欄に具体的な数値を示しているものは、一般社団法人日本公園施設業協会が策定している基準値です。

【ご参考】摩耗について



(ロープのゆるみ等についての補足)

ロープのゆるみやへたりのほか、固定具による原因が考えられ、専門知識を有した修理事業者の判断が必要です。地面との間隔が330mmを切った場合、遊んでいる子供の足が地面と接触する可能性が高く、遊具管理者が地面を削るなどの緊急対策を講じたうえで修理事業者に適切な修理を実施してもらいましょう。

ブランコの解説

Check 3 ☐ 座板の破損、ささくれはないか？ 木材が腐っていないか？



放置すると・・・？

- 座板の破損やささくれにより、けがをするおそれがあります。
- 木材の座板が腐っている場合は、突然破断して子どもが落下するなどの重大事故につながる危険があります。



対処方法

- 上記のいずれかが確認された場合、**直ちに使用を禁止し、専門業者に修理を依頼**してください。

Check 4 ☐ 支柱・梁・継ぎ手金具の金属部はさびていないか？ 破損、変形、亀裂はないか？ 異音はしないか？



放置すると・・・？

- 金属部がさびていると、破断により、支柱や梁等が落下して重大な事故につながる危険があります。
- さびの塊が剥落するような状態になると、さびが深くなっている可能性があり、支柱や梁等が破断して重大事故を誘発するおそれがあります。
- 変形等により座面が傾く、地面と接触するなど、事故を誘発する原因となるおそれがあります。
- 異音がする場合、見えない場所が破損している可能性があり、異音部が破断するなどして事故の原因となるおそれがあります。



対処方法

- 塗装の「膨らみ」や「穴あき」「ひび」は緊急度が高いため、**直ちに使用禁止**にしてください。
- さびに触れたときにさびの塊が剥落する場合も**直ちに使用禁止**にしてください。
- 座板が木製の場合、木材の腐り（触ったときふかふかになっている状態を含む）や、ひび割れがある場合は、強度が低下している可能性があるため**直ちに使用を禁止し、専門の業者に点検を依頼**してください。
- 金属部にさびが発生している場合はさびの進行を抑制するため、**早めの塗装補修が必要**です。
- 異音がする場合、**専門の業者に点検を依頼**してください。異音部に異常な挙動がみられる場合は**直ちに使用禁止**にしてください。

砂場の解説



Check 1

☐

砂場枠にひびや破損、欠損はないか？



放置すると・・・？

- 該当箇所から砂場に出入りしようとすると、状況によっては転んで、けがをするおそれがあります。



対処方法

- ひび、破損、欠損があった場合、その場所に子どもが近づかないようにし、**専門業者に修理を依頼**してください。



Check 2

☐

【異物の除去、砂の入れ替え】

年1回程度、砂を掘り起こして異物を除去しているか？

(異物の除去作業ができない場合) 砂の入れ替えをしているか？

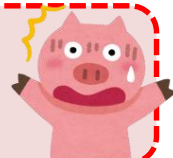


放置すると・・・？

- 動物の糞等が混入していると、不衛生であり、細菌により感染症を発症する可能性があります。

こんな事故に注意！

砂場にガラス片が混入しており、遊んでいる最中に手指に刺さって出血した。



対処方法

- ガラス片が混入している場合は**直ちに使用を禁止**し、ガラスの除去または砂の入れ替えを行ってください。
- 定期的に石など異物の除去作業を行ってください。



Check 3

☐

砂の上面が砂場枠の上面から220mm(*)以内か？

砂場枠外側の地面と砂場枠の上面の間は220mm(*)以内か？

☐

砂の深さは200mm(*)以上あるか？



放置すると・・・？

- 子どもが出入りするときに転んで、けがをするおそれがあります。



対処方法

- 数値を満たさないときは、砂や地面のかさ上げをしてください。

(*)チェック項目に具体的な数値を示しているものは、一般社団法人日本公園施設業協会が策定している基準値です。

Memo

SAMPLE

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP